

2009年の初号機打ち上げ以降、すべてのミッションが成功

宇宙ステーション補給機「こうのとり」6号機がISSに無事到着！



① ISSのロボットアームに把持された「こうのとり」6号機



② 「こうのとり」6号機ミッションロゴ

『(今回の把持の様子を見て)日本の技術力の高さをぜひ誇りに思ってもらいたい。』

ライブ中継で解説を務めた油井亀美也宇宙飛行士

12月9日(金)にH-IIBロケット6号機で打ち上げられた、宇宙ステーション補給機「こうのとり」6号機は、12月13日(火)19時39分にシェーン・キンブロー宇宙飛行士が操作する国際宇宙ステーション(ISS)のロボットアームにより把持(はじ:ロボットアームでつかむこと)されました。また翌12月14日(水)3時24分にはISSとの結合(ドッキング)を完了しました。

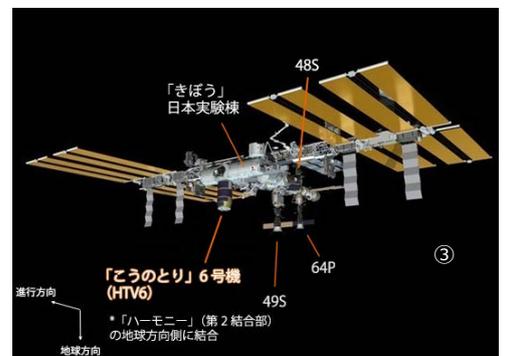
「こうのとり」6号機により宇宙飛行士の食料や飲み水などの補給物資のほか、ISSの運用に欠かせない日本製リチウムイオン電池を搭載した新型バッテリー、大学や企業が開発した超小型衛星7基などが送り届けられました。今後、「こうのとり」に搭載された補給物資はISS長期滞在クルーによって順次船内に移送される予定です。

世界最大! 約6トンの補給能力



「こうのとり」の特長は世界最大のISSへの物資補給能力です。米国、ロシアの補給船が約2~3トンであるのに対して、「こうのとり」では最大で約6トンの物資補給が可能です。「こうのとり」6号機の非圧部には日本製のリチウムイオン電池を使用したISSの新型バッテリーが搭載されていますが、このように大型の実験装置などをISSに運べるのは日本の「こうのとり」だけです。

- 上) 曝露(ばくろ)パレットに搭載されたISS用バッテリー
- 下) 種子島の水が入った飲料水バッグ(左)や大学・企業が開発した超小型衛星7基もISSに運ばれた



「こうのとり」6号機結合後のISS
「こうのとり」6号機はISSの「ハーモニー」(第2結合部)間の共通結合機構に設置

さらに詳しく知りたい方はコチラ



「こうのとり」6号機の最新情報はこちら
ファン!ファン! JAXA「こうのとり」6号機特設サイト
<http://fanfun.jaxa.jp/countdown/htv6/index.html>